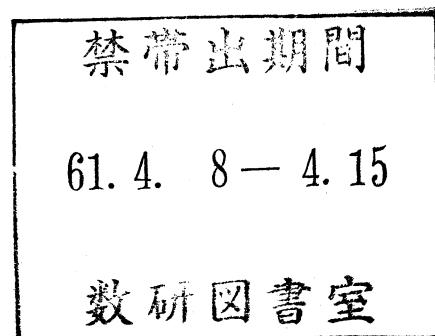


29  
7

2k-510012

数理解析研究所講究録 583

Automorphic representation  
の研究



京都大学数理解析研究所

1986年2月

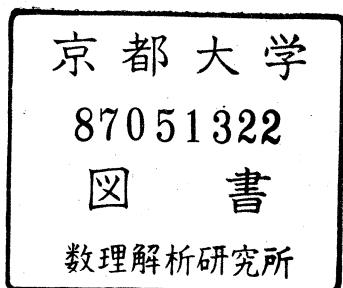
# 序

この講究録は、昭和 60 年 11 月 11 日～13 日の 3 日間にわたり、数理解析研究所で開かれた研究集会 "Automorphic representation の研究" の報告集であり、各論文は実際に行われた十二の講演に対応している。この論文集がこの方面の研究の一助になれば幸いである。

講演者の旅費等の経費は、数理解析研究所と文部省科学研究費総合 A (課題番号 60302002, 代表者: 白谷克己教授) から支給された。白谷教授には、計画の段階から色々御教示を頂いた。ここに記して深く感謝したい。講演者の方々、研究集会に御協力下さった方々にも厚く感謝する。

昭和 61 年 2 月

吉田敬之



# Automorphic representationの研究

## 研究集会報告集

1985年11月11日～11月13日

研究代表者 吉田 敬之 (Hiroyuki Yoshida)

### 目 次

1. On automorphic cuspidal representations of $U(2,2)$ -----	1
東北大・理 渡部 隆夫 (Takao Watanabe)	
2. 符号 (2,2) のユニタリ群の L 関数について-----	12
東大・理 菅野 孝史 (Takashi Sugano)	
3. 定符号 3 次ユニタリ群の類数について-----	38
早大・理工 橋本 喜一朗 (Ki-ichiro Hashimoto )	
東大・理 古閑 春隆 (Harutaka Koseki )	
4. $O(1, q+1)$ 上の wave formについて-----	59
東工大・理 高瀬 幸一 (Koichi Takase )	
5. On Certain Vector Valued Siegel Modular Forms of Degree Two -----	73
東工大・理 佐藤 孝和 (Takakazu Satoh)	
6. Siegel modular variety 上の Holomorphic tensor -----	87
露峰 茂明 (Shigeaki Tsuyumine)	
7. 格子の自己同型群と跡公式の一般化-----	106
九大・教養 伊吹山 知義 (Tomoyoshi Ibukiyama )	
8. 実 2 次体上の $A_4$ 拡大と Hecke 作用素-----	120
名大・理 小池 正夫 (Masao Koike )	
" 谷川 好男 (Yoshio Tanigawa )	

9. cubic theta functionについて	133
名大・理      吉本 明宣 (Akinobu Yoshimoto )	
10. Jacobi formsに付随するL-函数について	140
東大・理      村瀬 篤 (Atsushi Murase)	
11. Jacobi形式と Maag relation	161
九大・理      山崎 正 (Tadashi Yamazaki)	
12. 2次形式の局所密度とアイゼンシュタイン級数のフーリエ係数について	167
名大・理      北岡 良之 (Yoshiyuki Kitaoka )	
13. Local densities of quadratic forms and Fourier coefficients of Eisenstein series	169
名大・理      北岡 良之 (Yoshiyuki Kitaoka )	